

グリーン四国

No.1163
2017年
2月号

四国森林・林業研究発表会を開催

64回を迎えた研究発表会は、当森林管理局・各署等のほか教育機関、自治体、各研究機関等から民国連携した取組やニホンジカによる食害対策など20課題が発表されました。

四国森林・林業研究発表会



「スペシャリストコース課題研究への取組」

高知県立高知工業高等学校の発表

目次

| | |
|------------------------------|----|
| ・四国森林・林業研究発表会を開催 | 2 |
| ・「コウヨウザン植栽地における協同研究に係る協定」を締結 | 5 |
| ・国有林間伐推進コンクールで林野庁長官賞（優秀賞）を受賞 | 5 |
| ・森林技術部門で受賞！国有林野事業業務研究発表会 | 6 |
| ・地方公共団体出向者会議を開催 | 7 |
| ・平成28年度第二回技術開発委員会を開催 | 8 |
| ・「介良の祭り」で森林の大切さをPR | 9 |
| ・各地のたより | 10 |



四国山の日

四国森林管理局

高知市丸ノ内1丁目3-30
TEL 088-821-2052
FAX 088-821-4834
HP <http://www.rinya.maff.go.jp/shikoku/>
E-mail shikoku_soumu@maff.go.jp

四国森林・林業研究発表会を開催

〔四国森林管理局〕

一月二四日、四国森林管理局大会議室において、「平成二八年度四国森林・林業研究発表会」を開催しました。

開会にあたり、大山局長から「発表される課題は、森林整備の低コスト化や木材利用を始め、治山、二ホンジカ食害対策、森林環境教育など多くの今日的課題についての研究成果であり大変有意義な内容であります。発表される方々が取り組んでいる課題が、これからの森林づくりにどうに反映されることを期待します。」と挨拶がありました。

六四回目を迎えた今年の研究発表会には、局署等のほか教育機関、自治体、各研究機関等から民国連携した取組や二ホンジカによる食害対策など（特別発表を含む）二〇課題が発表されました。中でも、高知県立高知工業高校、高知県立四万十高校から、学習活動の一環として取り組んでいる内容について発表があり、会場から多くの拍手が送られました。

特に、今回の特徴として、発表の

内容は勿論のこと、プレゼンテーションに、動画や音声を使用した課題が増えるなど聴く側に分かり易い配慮が見受けられました。

会場内の聴講者は、局署等職員はもとより民間事業者、自治体、研究機関から一五〇名を超える方々が発表に聴き入りました。

今回も、プレゼンシート（発表者と聴講者がつながり、振り返るもの）を備え、聴講者に記入して頂き、全課題に合わせて、一二四枚のシートが寄せられました。（寄せられた内容等については、次号に掲載予定）

このシートは、各課題ごとに聴講者が発表に対するアドバイスや感じた事を記入し、発表者に返すことで、今後の取組に生かす事を目的に、各発表者に届けることにしています。

審査の結果、四国森林管理局長賞として七課題（最優秀賞一課題、優秀賞三課題、奨励賞二課題）が選出され、各受賞者に表彰状と記念品が授与されました。また、日本森林技術協会理事長賞、日本森林林業振興会長賞としてそれぞれ一課題選出され、表彰状が授与されました。最優秀賞に輝いた安芸森林管理署の発表は、獣害防止対策として、L型ネットの開発、ドローンを活用したネット

ト巡視の取組などと合わせ高く評価されました。発表者、聴講者はもとより、開催にあたりご協力頂きました方々に感謝いたします。ありがとうございました。

各受賞者の皆様

【四国森林管理局長賞】

●最優秀賞



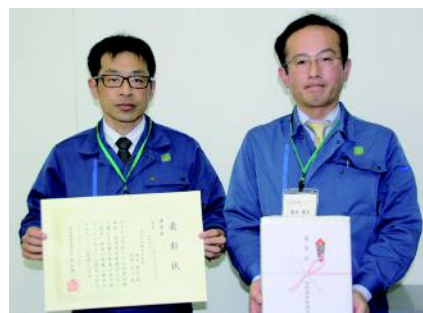
安芸森林管理署
森林整備官 吉本 和正氏
係員 岡上 優斗氏

●優秀賞



四国森林管理局森林整備課
路網整備係 小杉 陵太氏
路網計画係 東別府省伍氏

●優秀賞



高知中部森林管理署
主任森林整備官 豊永 憲文氏
地域技術官 萩野 伸二氏



香川森林管理事務所
首席森林官 馬門 辰美氏 係員 藤永 裕文氏
総括森林整備官 岡部 光明氏



高知県立高知工業高等学校
建築科3年生の皆様



高知県立四万十高等学校
自然環境コース2年生の皆様



徳島森林づくり推進機構
主任講師 加藤 正典氏
第一期生徒 森 準氏
事務員 奥田 佑美氏

●奨励賞



徳島森林管理署
森林整備官 堀切 政俊氏
係員 谷脇はるか氏

【日本森林林業振興会長賞】



四国森林管理局森林技術・支援センター
副所長 池上 永一氏

【日本森林技術協会理事長賞】

平成28年度四国森林・林業研究発表会プログラム

| 発表順 | 発表課題 | 発表者 | | 審査結果 |
|-----|--|--|----------------|-----------------|
| | | 所属 | 氏名 | |
| 1 | 改良型傾斜付横断溝の開発及び実地試験結果について | 四国森林管理局 森林整備課 路網整備係 森林整備課 路網計画係 | 小杉 陵太 東別府省伍 | 四国森林管理局長賞（優秀賞） |
| 2 | ニホンジカ被害防護対策の労力、経費削減の試み | 高知中部森林管理署 主任森林整備官 地域技術官 | 豊永 憲文 萩野 伸二 | 四国森林管理局長賞（優秀賞） |
| 3 | 竹を利用したシカ害対策について（経過報告） | 四国森林管理局 森林技術・支援センター 副所長 | 池上 永一 | 日本森林技術協会理事長賞 |
| 4 | 南予森林計画区における森林作業道を用いた効率的かつ低コストな森林整備について | 愛媛森林管理署宇和島森林事務所 係員 愛媛森林管理署 係員 | 小倉 俊治 横尾 憲祐 | |
| 5 | 低コストで効果的な獣害防止対策（斜め張り・L型ネット）及びドローンを使用したシカネット巡視の取組について | 安芸森林管理署 森林整備官 係員 | 吉本 和正 岡上 優斗 | 四国森林管理局長賞（最優秀賞） |
| 6 | 低コスト大型囲い罠によるシカ捕獲について | 住友林業株式会社資源環境本部山林部新居浜山林事業所 所長 | 杉山 純之 宮城 正明 | |

| 発表順 | 発表課題 | 発表者 | | 審査結果 | |
|-----|---|---|---|---------------------------------|----------------|
| | | 所属 | 氏名 | | |
| 7 | 森林作業道における鋼矢板を用いた新たな水切り工 | 愛媛森林管理署 森林整備官 あすなる四国支社 現場代理人 | 野村 祐樹 赤松 和幸 | | |
| 8 | 今治地域における林業振興に向けた取組について | 愛媛県東予地方局今治支局 森林林業課 主任 | 神野 貴之 | | |
| 9 | 地山傾斜 35 度以上の急傾斜地の作業道における土砂流出防止工法の一考察 | 森林総合研究所森林整備センター 徳島水源林整備事務所 主幹 主任 | 宇都 弘恭 森山 翔二 | | |
| 10 | 三次元リモートセンシングによる森林構造の把握 ※特別発表 | 高知大学 准教授 日本森林林業振興会 高知支部長 高知支部員 | 松岡 真如 川上 利次 高野 一隆 | | |
| 11 | 南小川地区沖（下）における地すべり防止対策工事について（中間経過報告） | 嶺北森林管理署 治山技術官 係員 | 宮岡 卓 吉元 崇紘 | | |
| 12 | 平成 28 年 4 月開講 “とくしま林業アカデミー” の現状について | 公益社団法人 徳島森林づくり推進機構 主任講師 事務員 第 1 期生生徒 | 加藤 正典 奥田 佑美 森 準 | 四国森林管理局长賞（奨励賞） | |
| 13 | 地域の課題解決に向けた民有林との連携 | 徳島森林管理署 森林整備官 係員 | 堀切 政俊 谷脇はるか | 日本森林林業振興会長賞 | |
| 14 | 演習林で演習しよう | 高知県立四万十高等学校 自然環境コース 2 年生 自然環境コース 2 年生 | 吉良 和恭 中越 拓也 | 四国森林管理局长賞（奨励賞） | |
| 15 | 森林作業道の再利用と列状間伐のコスト縮減に向けた考察 | 香川森林管理事務所 係員 総括森林整備官 首席森林官 | 藤永 裕文 岡部 光明 馬門 辰美 | 四国森林管理局长賞（優秀賞） | |
| 16 | スペシャリストコース 課題研究への取組 | 高知県立高知工業高等学校 建築科 3 年生 | 植田 真由 梅原 嘉人 奥田 大雅 千崎健太郎 永吉洗太郎 | 細木 俊介 前田 康輔 松浦 海里 和田 梓 | 四国森林管理局长賞（奨励賞） |
| 17 | コウヨウザン試験地の現況と課題について | 四万十森林管理署 三崎森林事務所森林官 四万十森林管理署 係員 | 朝比奈和弘 平山 陽大 | | |
| 18 | 四国森林管理局管内における精英樹選抜育種事業 60 年の成果 ※特別発表 | 森林総合研究所 林木育種センター 関西育種場 育種課長 | 久保田正裕 | | |
| 19 | スギ梁桁乾燥材の品質の安定化 ※特別発表 | 高知県立森林技術センター 研究員 | 宮部涼太郎 | | |
| 20 | 都道府県単位でみた木材利用ポイント事業への対応と単独住宅政策との関連性—四国 4 県の分析を中心として— ※特別発表 | 森林総合研究所四国支所 流域森林保全研究グループ 主任研究員 | 志賀 薫 | | |



昭和 63 年に伐採後、ぼう芽成長したコウヨウザン

「コウヨウザン植栽地における共同研究に係る協定」を締結

〈四国森林管理局〉

四国森林管理局と森林総合研究所 林木育種センターは、コウヨウザン萌芽再生林の管理手法を踏まえた優良個体の選抜を目的にした協定を、一月二〇日に締結しました。

コウヨウザンは、現在注目されてきている早生樹のひとつで成長が早く、萌芽による更新が可能で低コストかつ短伐期で収穫が可能になることに加え、材質もスギとヒノキの中

間程度と言われ建築用材や合板用材、バイオマス原料用としての利用が期待されています。

協定を締結した四万十森林管理署管内の辛川山国有林（土佐清水市）の試験地はコウヨウザンを昭和八年に植栽、昭和六三年に伐採を行った後、萌芽を利用することで植付を省略し低コスト化を図ることを目的に試験地として設定し、萌芽本数調査及び芽かきによる生長量比較を行ってきました。

昭和六三年の伐採当時の調査報告を見ると、コウヨウザンは木材としての需要がなかったため造林樹種としての評価はきわめて低いとの評価でしたが、現在では集成材や合板、木質バイオマス発電など新たな需要が開拓されたことから注目を浴びています。

萌芽再生した林分は国内では現在のところ辛川山の林分のみといわれており、今回の共同研究では、萌芽の状況、成長状況や材質などを調査し、優良個体を選抜して、コウヨウザンの効果的な更新技術を開発し普及することで、注目されてきている早生樹の新たな取組の推進に資することが期待されます。

大山四国森林管理局長（右側）と渡邊森林総合研究所林木育種センター所長（左側）の協定調印式



なお、当日は林木育種センター所長外三名が来局され協定書に署名し、その後、懇談を行いました。その中で育種センターが行っているエリートツリーやコンテナ苗などの育種事業の取組や、植栽の際に国有林での試験地設定の協力依頼についても話されました。

また、四国森林管理局からは、管内での早生樹への取組として、センダンの種子を各署で採取し、局敷地内で育苗した苗を活用した試験地の設定やユリノキの成長調査などの取

組、職員による先進的な早生樹植栽を行っている九州や中国地方における調査などの紹介や愛媛県内での民間での取組事例を紹介し、四国における早生樹の取組状況等意見交換を行いました。

今回の協定期間は一〇年と長期になるため、今後とも連絡を密にし、研究成果については双方で共有していくことを確認し、終了しました。

国有林間伐推進コンクールで林野庁長官賞（優秀賞）を受賞

〈四国森林管理局〉

平成二八年度国有林間伐推進コンクールにおいて「株」とされいほく」が林野庁長官賞（優秀賞）に選定され、一月二三日に四国森林管理局長より、優秀賞が伝達されました。

このコンクールは、国有林野事業における間伐等の発注事業や立木販売において、優れた品質の森林整備を行うとともに、高い生産性や作業システムの特徴や成果等の取組を競い、優秀な事例が選定されます。その優秀な事例を公表することにより、高効率かつ低コストな間伐等に

記念撮影



ついでに民有林を含めた普及、定着及び推進に資することを目的として、今年度で一五回目となります。

四国森林管理局管内の林業事業体では、四例目の受賞となりました。

受賞された(株)とされいほくの取組は、平成二七年度に嶺北森林管理署管内の仁尾ヶ内山国有林で実施した間伐の請負生産事業で、

① 架線系と車両系の作業システムを事業地の傾斜等に柔軟に組み合わせることににより作業効率が向上

架線集材の状況



② 民国連携の事業地設定の下、循環型の森林作業道設計・作設し、運材作業の効率化を図っていること。

③ 全木集造材により集積される低質材、未木枝系については、ほぼ全量を木質バイオマス燃料用として搬出・販売を実施していること。

④ H型集材の採用により、二つの主索の間をピンポイントで集材が可能であることから、荷掛に係る労働強度の軽減や、かかり木処理の効率化による、安全性が向上していること。

等が評価されたものです。

伝達式には、「(株)とされいほく」

の石垣業務課長・森下現場代理人及び嶺北署長・森下主任森林整備官(監督職員)も出席し、式後には、局長より、日頃の協力に対する感謝や現場での取組、技術の向上等について話をされていました。

今後も、安全作業への取組や、生産性の向上、更なる技術の研鑽及び後継者への技術継承が期待されます。

林野庁全体の受賞状況については、林野庁ホームページの「平成二八年度国有林間伐推進コンクールについて」(<http://www.rinyamaff.go.jp/j/gyomu/hanbai/kanbatu/suisinkonkur.htm>)をご覧ください。



荷上中の状況

森林技術部門で受賞！ 国有林野事業業務研究 発表会

〈四国森林管理局〉

平成二八年度 国有林野事業業務研究発表会が二月三日、林野庁において開催され、四国森林管理局からは、部門ごとに四課題発表しました。

その中で、「改良型傾斜付横断溝の開発及び実地試験結果」(発表者：森林整備課東別府路網計画係、小杉路網整備係)が、森林技術部門において、林業機械化協会会長賞を受賞しました。

その他の発表は次の通り。

○森林技術部門

「素材生産における技術交流の促進」(発表者：四万十森林管理署 酒井森林整備官 山内係員)

○森林ふれあい部門

「森林環境教育の実践手法」(発表者：四万十川森林ふれあい推進センター 松山自然再生指導官、川村自然再生指導官)



森林整備課 東別府省伍氏 小杉 陵太氏

○森林保全部門
 「嶺北森林管理署管内における二ホンシカ生息調査及び捕獲・駆除対策について」（発表者：嶺北森林管理署 鶴内森林技術指導官、筒井係員）
 なお、研究発表会の内容等については、林野庁において発表集が作成された後、各署等へ配布する予定です。
 今回、四課題の発表者に、林野庁での発表を通じて「業務研究発表会振り返りシート」の記入に協力頂きました。
 このシートは、発表した際に気づいた良かった点・悪かった点を記入

し今回の発表に生かそうとするものです。
 記入したシートは、四国局研究発表会の当日、発表者にこれからの取組を含め、より良い発表に活用して頂くようお渡したところです。
 今後とも森林・林業に対する多様なニーズに応えていくため、各署等においては技術開発等の取組を一層推進していきます。

地方公共団体出向者会議を開催

〈総務課〉

一月二五日、四国森林管理局において、地方公共団体出向者会議を開催しました。

この会議は、四国内の県・市町村に出向している職員から、出向先での活動状況報告や国有林に対する意見・提言を受けるもので、各種情報提供と併せて、幹部との意見交換等を図ることを趣旨として開催しているものです。

冒頭、大山局長から、「皆さん、それぞれ県・市町村に出向され重要なポストでのご活躍をいただいていると承知している。山根副部長さん

をはじめ出向者の方々の行政能力には、お褒めの言葉をいただいている。私どもに対して意見や、提言など遠慮なくお話しいただきたい。」との挨拶がありました。

企画調整課長からは、「二九年度林野庁関係予算概算決定の概要」について説明しました。

続いて、高知県林業振興・環境部 山根副部長から「高知県産業振興計画について」第一次産業、食品産業、コンテナ産業、ものづくり産業等について取組の説明がありました。



出向者会議の様子

商品の説明をしている馬路村川合課長（左端）



町村出向者から、活動状況として、①橿原町の鉢村参事からは、雲の上の森づくりについて、森林・林業の現況、製品外商販売の取組水源地域森林整備交付金事業の実施等の報告。②大豊町の田坂副町長からは、地域資源活用による基盤整備について、地域材の安定的な供給体制の構築、地域特産品の生産・販売拡大、集落との連携による地域産業の持続化等の報告。③那賀町の草留副町長からは、林業ビジネスセンターの概要について

て、町の情報一元化にむけた取組、林業アカデミーの生徒・高校生・一般の林業者の研修施設の設置、林業機械メンテナンスセンターの設置、ドローンの練習場設置等の報告。④馬路村の川合課長からは、森林副産物の生産・販売、地方創世の取組について、村産品の外商により安定した雇用の創出、新しい人の流れをつくる取組、魚梁瀬地区の維持・創世、しきみ・さかさの生産販売等の報告がありました。

最後の意見交換では、管理局と出向者が持っている国有林・民有林の情報交換できれば、お互いの視野も広がり、新たな民国連携の取組も生まれてくる。今後もお互い協力していくことを確認して会議を終りました。

「平成二八年度第二回技術開発委員会」を開催

〈森林技術・支援センター〉

一月二三日、四国森林管理局二階会議室にて、今年度第二回目の技術開発委員会を開催しました。

当委員会は、四国森林管理局技術

開発委員会運営要綱に基づき、技術開発の計画・評価・方法等について意見を聴くもので、森林生態学、林木育種、遺伝資源、森林管理経営等の専門家の委員で構成されています。

今回は、平成二八年度中に実施した技術開発課題の内、完了報告「下刈省略化によるシカ食害低減効果の検証」、「小型囲いわなによるシカ誘引・捕獲の向上と普及の推進」の二課題と、平成二九年度新



第2回技術開発委員会

規課題（案）「再造林地でのノウサギ食害対策について」の一課題について、審議をいただき意見を伺いました。

完了課題として

●「下刈省略化によるシカ食害低減効果の検証」については、

① 冬場は下層植生の落葉等により食害が多くなる傾向にある、積雪量が増えるとシカは林の中にいて植栽地等のオープンな所には出てこないこともある等から、冬場の状況の確認が必要。

② 下刈区の食害が多いが、次年度は下刈区と無下刈区の施業を入れ替えて、被害防護効果が下刈の有無のみによるものか等を検証してはどうか。

●「小型囲いわなによるシカ誘引・捕獲の向上と普及の推進」については、

① 捕獲マニュアルは、初めて使用する一般の人でも、センター職員と同じ取扱いができるように、できる限り具体的な記述とされたい。また、一目で理解できる一枚紙程度の簡略版も作成した方がよい。

② 長期餌付けにより全頭捕獲し

た箇所での、餌付け及びシカの出現調査に係るデータは貴重であり、継続調査されたい。新規課題として

●「再造林地でのノウサギ食害対策について」は、

① ノウサギの被害実態を、シカと区分して調査・整理する必要がある。

② 過去の調査研究の情報を収集・整理し、使用可能な手法などを検討することが必要。

等の様々な意見が出されました。

今回頂きましたこれらの貴重な意見を踏まえて、今後の試験設定のあり方など技術開発・普及支援に活かして行くこととしています。



小型囲いわなによるニホンジカ捕獲マニュアル

「介良の祭り」で森林の大切さをPR

〈技術普及課〉

一月二日、高知市立介良小学校において、森林教室と木工教室を実施しました。

これは、介良小学校から、親子が参加するイベント「ふれあい参観日・介良の祭り」の体験学習コーナーの一つとして、木工制作の体験活動を通じて森林への理解を深めてもらいたいと、当局に森林・木工教室の依頼があったものです。

当日は、地域の方々が先生役となる体験学習コーナーが設けられ、森林・木工教室には一八組の親子等の参加がありました。

はじめに、森林の働きについてクイズ形式を通じて学習を行い、「木の浮沈実験」や「水の浸透実験」を行いました。児童たちは大変興味を持って見てくれました。

木工は、一二種類と多種の作品に制作希望があったことや、低学年が多いこともあり、最初は時間内に完成できるか心配していましたが、父兄が一緒になって、楽しそうに作成

してくれて、皆が非常に丁寧に、時間に余裕を持って仕上げてくださいました。

「色塗りや、細かいところが大変だった。」「楽しかった。」などの感想を聞きましたが、去年に引き続き「森林・木工教室」に参加してくれた二年生の児童のお父さんが、「去年（竹製品の鉛筆立て）より、ずいぶんレベルアップしたのが作れてすごい。」と褒めていると、児童も顔をほころばせ、満足そうに自分の作品を見つけていました。

毎年この教室を選んでくれる児童が来年は六年生になるそうので、「来年もよろしくお願いします。」と言ってくれたことに、喜びを感じると同時に、一人でも多くの児童が、この学習や木に触れることを通して、益々、森林や林業に関心をもち、大切に思う気持ちが浸透してくれることを願っています。

作製方法の説明の様子



森林の働きについての学習



木工作品作製中



水の浸透実験の様子



各地のたより



東中筋小学校でシイタケの駒打ち体験

〈四万十川ふれあい推進センター〉

一月一六日、四万十市立東中筋小学校の「山の学習」で、五年生二二名を対象にシイタケ栽培の体験学習を行いました。

はじめに「森林のはたらき」について、パネルを使い森林には「水を蓄える」、「山崩れを防ぐ」、「地球の環境を守る」などの働きがあることを説明して、森林の大切さを知ってもらいました。

次に、きのこの種類や毒きのこの話、シイタケ栽培の仕方等を聞いた後、校庭に出て実際に駒打ちに取りかかりました。

最初に電動ドリルの使用方法や、穴開け作業の注意点等を実演を交えて説明し、六班に分かれて作業を行いました。長さ一m、直径一〇cm

電動ドリルで穴開けの様子



のクヌギ原木に電動ドリルで二〇箇所の穴を開け、シイタケ菌の種駒を金槌や木槌で打ち込み、児童が互いに協力しあうことで、初めてには要領良く作業が進み、約一時間でほど木五〇本を完成しました。

各地のたより 目次

- 東中筋小学校で
シイタケの駒打ち体験
- 民有林関係者を対象とした
「ドローン活用研修会」を
開催
- 高知市立第六小学校
アカマツ保存プロジェクト展を開催
- 「森林ふれあい館」
からお知らせ

児童から終わりの挨拶の中で、「電動ドリルを使った穴開けは初めてだったので少し緊張したけどよい経験になりました」、「シイタケが生えるのがとても楽しみです」との感想がありました。

完成したほど木は学校の畑に合掌に組んで伏せるそうです。

今回のシイタケ栽培を通して、児童が、森林や林業・地域の自然や生活に関心を持つてくれる事を期待しています。

民有林関係者を対象とした「ドローン活用研修会」を開催

〈香川森林管理事務所〉

小型無人航空機（ドローン）については、ここ数年で機能が急速に進化し、各方面への活用が格格的に展開されるようになってい

座学講習の状況



ところですが、森林・林業に関しても、林況の確認や森林整備事業の進捗状況・完了の確認、集約化に必要な境界確認、山地災害調査等すでに様々な活用されており、新たな業務への活用が期待されているところです。

当所では、これまでドローンを使用してきた実績を踏まえ、その操作や活用の方法について民有林関係者に紹介するため、一月二六日、さぬき市内で「小型無人航空機（ドローン）の森林・林業への活用研修会」を開催しました。当日は、県・市町

や森林組合等から、三〇名以上の林務担当職員や現場関係者が参加しました。

午前は、香川東部森林組合の会議室において座学講習を実施、森林管理局におけるドローンの活用状況、基本操作方法や飛行に際しての制限事項等についての講義を行うとともに、活用した事例の撮影映像を交えた説明を行いました。

午後からは、民有林の皆伐跡地に移動し、参加者を三班に分け、三台のドローンを使い全員がコントローラーを手に操作実習を行いました。



無人航空機の飛行練習

参加者からは、「地上から見られない箇所を確認するときに大変便利」、「森林整備の状況確認が手軽にかつ素早くできる」、「森林所有者への説明に使える」等の意見が寄せられるなど、高い関心と期待がうかがわれました。

当所においても、活用方法についてはまだまだ模索している段階ではありますが、今後ともこうした機会を積極的に設けるなどとして、民有林関係者と情報を共有し、みんなで知恵を出し合い、そして連携して、地域のよりよい森林整備や住民の方々の安全・安心に役立てていきたいと考えています。

高知市立第六小学校 アカマツ保存プロジェクト 展を開催

〈四国森林管理局〉

一月一六日から三一日まで、四国森林管理局一階、ふれあい館隣の会議室において、牧野植物園巡回展「すみれ・たんぽぽ展」と同時開催で、高知市立第六小学校六年生児童による環境学習発表展「ア

第六小学校
イメージキャラクター



カマツ保存プロジェクト「アカマツのすばらしさを発信しよう」を開催しました。

この展示は、平成二六年度に学校から当局に、校庭にある幹の腐朽が進んだアカマツ（樹齢百年を超えると思われる）の保護について相談があり、遺伝資源のクローン増殖サービス「林木遺伝子銀行一〇番」を紹介し、接ぎ木による増殖を行った結果、昨年二月に一三本のアカマツの赤ちゃんを校庭に植えることが出来ましたので、現在も順調に生育しています。

これを機に、八月には、仙台市で行われた「平成二八年度 学校の森・子どもサミット」において、その活動報告を代表児童一名が行いました。

その後も学習を続け、二学期の参観日に保護者達にもその発表内容を見てもらうため、段ボールのパネルにアカマツの歴史や保全への思いを、手書き新聞にして作成した。それらを学校内の展示で終わらすのはもったいないと、学校の近隣でもある四国森林管理局内で展示することを提案し、今回の展示に至りました。パネルの外にも、児童がアカマツへの思いを俳句にしたものなど、約三〇点の展示をしました。

第六小学校の全校児童が、授業



観覧に訪れた第六小学校の児童

僕たち・私たちの作品だよ



の合間に観覧のため来局してくれ、六年生は、「これは自分の作品」と恥ずかしそうに見たり、他の学年は、改めてアカマツを大切に思う気持ちが高まったようでした。

学校のシンボルとして、すっかり人気者になった幸せ者の「アカマツくん」が、これから先も第六小学校の授業で、児童たちに森林に対してますます興味を持ってもらい、また、地域の方々にも、この活動から、児童たちの思いや、森林の大切さを理解していただけることを願っております。

「森林ふれあい館」

からお知らせ

〈四国森林管理局〉

現在、庁舎一階の「森林ふれあい館」では、すみれ・たんぽぽ展（牧野植物園巡回展）を展示しています。

このような牧野植物園の巡回展は、これまで首都圏等で開催されていましたが、四国内では初めての取り組みとなります。

今回の展示では、牧野植物園が研究活動としてボランティアと一緒に行った「スミレ調査」と「タンポポ調査」の成果など、春の訪れにさきがけて咲く身近な植物のスミレとタンポポを題材に、花のつくりや生態などを写真やイラストで分かりやすく展示しています。スタンプリーなどを通じて、植物に親しむきっかけの場としていただきたいと思いますので、ぜひご来館ください。

（二月二十六日まで展示）

お問い合わせ

四国森林管理局

総務課・企画調整課

Stamp rally 記念スタンプを 集めよう!

会場に設置されたスタンプは全部で6個!
各コーナーを回ってすみれとタンポポについて学んだらスタンプを押そう!

